

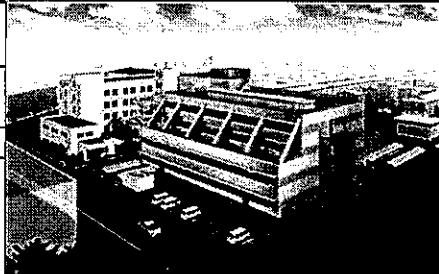
CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

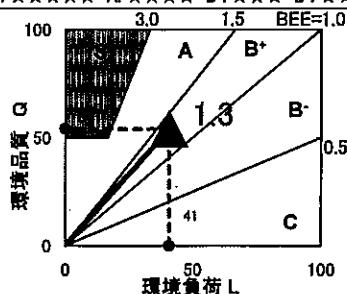
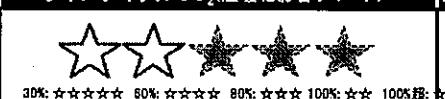
1-1 建物概要

建物名称	城陽市役所 新庁舎	階数	地上4F
建設地	京都府城陽市寺田東ノ口16番地、1	構造	S造
用途地域	準住居地域、第1種住居地域、準防	平均居住人員	25,000 人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,000 時間/年
建物用途	事務所、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年11月 予定	評価の実施日	2016年7月15日
敷地面積	5,766 m ²	作成者	株式会社内藤建築事務所
建築面積	1,042 m ²	確認日	2016年7月19日
延床面積	3,669 m ²	確認者	乾康夫

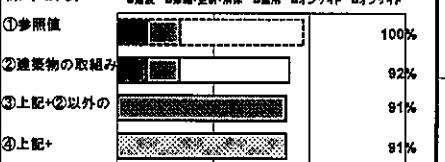
1-2 外観



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

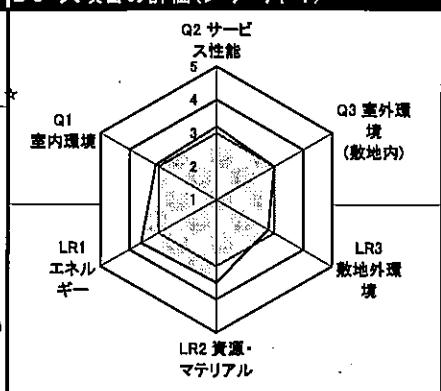
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したもの

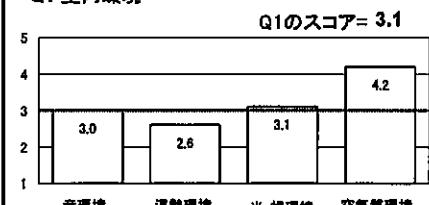
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



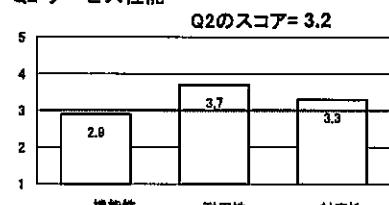
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

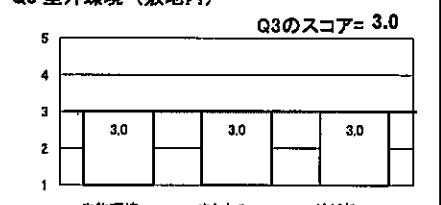
Q1 室内環境



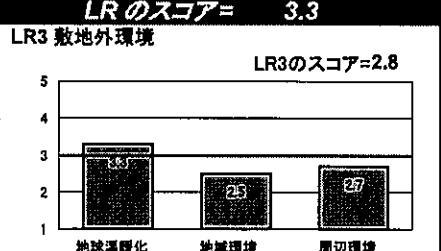
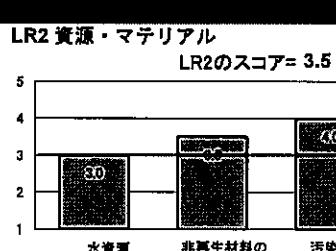
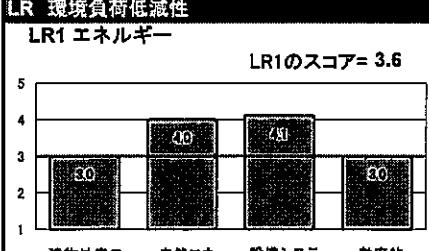
Q2 サービス性能



Q3 室外環境 (敷地内)



LR 環境負荷低減性



3 設計上の配慮事項

総合

1階に福祉課、高齢介護課、子育て支援課を集約させ来庁者の利便性を向上させる。
各階に車いす対応トイレの設置、入口付近にエレベーター・階段の設置、段差解消など誰にでも優しく親しまれる庁舎とする。

比較的来庁者の多い1階と2階は幅広い中央廊下とし、わかりやすい空間構成とする。

Q1 室内環境
全ての建材について★★★★☆を使用
星光センサによる照明制御の実施

Q2 サービス性能
保有水平耐力比1.5以上
非常用発電機の設置
受変電設備は1階電気室内に設置、地階への設置を行わない

その他
設備配管を外部に設置し更新が容易にできるよう計画

Q3 室外環境 (敷地内)
敷地の20%以上の緑地率を確保

LR1 エネルギー
太陽光発電を設置

LR2 資源・マテリアル
節水型便器を設置

LR3 敷地外環境
日影規制を最守

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフケイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される